



2026年6月5日(金)  
余市養護学校しりべし学園分校  
文責：研究部 高橋  
第1号

研究だよりでは、分校で取り組んでいく研究・研修について、リマインドを兼ねての振り返りや、内容や成果についての紹介等をしようと思います。新年度のスタートにあたり、昨年度までの歩みを振り返りながら今年度の研究について確認したいと思います。昨年度同様、先生方のご協力を得る機会が増えると思いますので、よろしくお願いします。

## 昨年度の研究について

### 1. 私たちが向き合う子どもたちの背景

本校に通う児童生徒の半数以上が、近隣の児童養護施設から通学しています。社会的養護を必要とする子どもたちが多くという現状を踏まえ、障がい特性への理解は大前提としつつ、「個々の生育歴や背景」にまで深く思いを馳せ、受容していく姿勢が私たちの指導のスタートラインです。

### 2. 個別指導の強みと、陥りがちな盲点

本校は恵まれた教員配置により、「1対1の指導体制」をとりやすいという大きな強みを持っています。しかし、個別の指導が深まるほど、以下のような課題も生まれやすくなります。

自分の指導を客観的に省察する時間の不足  
過去の経験則や、個人的な指導観への依存

これらを打破し、どの子どもにも質の高い教育を保障するために、「教職員一人ひとりの高い専門性」の向上がとにかく欠かせません。

### 3. 昨年度の成果：基礎基本の底上げ

近年、初任者や転入者の先生が増えている背景もあり、昨年度は「専門性」をキーワードに学校全体の底上げを図りました。

知的障がい教育の基礎基本の徹底（研究主題・目標への反映）  
特センとの連携による、児童生徒との関わり方の基礎研修  
校外研修への積極的参加による、他校の実践や他機関の視点の獲得

先生方の積極的なご協力のおかげで、確かな土台が築かれました。今年度もこの「基礎基本」をベースに、さらに専門性を高め、チーム分校として子どもたちの成長を支えていきましょう。

# 今年度の研究について

2カ年主題 「教師一人一人が知的障害教育への専門性を高め、チームとして質の高い教職員集団を目指す。」

## 今年度副題

「知的障害教育の専門性に基づいた子ども主体の授業づくり」

令和8年度 研修方針：「子ども主体の授業づくり」と「更なる専門性の向上」を目指して

### 今年度の校内研修の流れ（年間計画の概要）

今年度は、【アセスメント → 指導法の模索 → 実践・互見授業 → 成果の共有】という一連のサイクルを、学部ごとにチームとなって進めていきます。

## 1. 実態把握とアセスメントの学び（スタート）

## 2. 対象児童生徒の選定（学部ごと）

- ・各学部で対象となる児童生徒を1名決定し、組織的なアセスメントを行います。

## 3. 指導法の模索と実践（互見授業の実施）

- ・実際の授業を互いに見合う「互見授業」の期間を設け、客観的な視点を取り入れます。

## 4. 実践発表と意見交流会

- ・成果や課題を協議・共有し、学校全体の専門性の底上げにつなげます。


# 今年度の研修について

月	研究・研修	月	研究・研修
4	研究日①計画、生徒の実態	8	研究日⑤実践方針・方法の報告会 互見授業①
5	研究日②意識調査アンケート インフォーマルなアセスメント①	9	研究日⑥対象生徒のグループ検討① 互見授業②
		10	研究日⑦対象生徒のグループ検討② 互見授業③
6	研究日③インフォーマルなアセスメント②	11	研究日⑧対象生徒のグループ検討③ 互見授業④
7	研究日④インフォーマルなアセスメント③ 指導主事訪問研修「未定」	12	研究日⑨実践報告会
		1	振り返りアンケート
	夏期休暇中 教材教具展	2	研究日⑩まとめ

先生方の日々の実践に寄り添い、豊かで意義のある研究にしていきたいと考えています。1年間、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 場崎先生の講座

5月20日（水）に講師場崎先生によるアセスメント講座を行いました。ためになり、かつ楽しい研修時間となりました！



### アセスメントとは？

教育一般 = 学習評価


“子どもを様々な角度から把握した①情報を基に、その子どもの②教育的課題を明らかにし、有効な③指導・支援の手立てを立案すること”

「生徒指導提要」 = 「見立て」

生徒指導は児童生徒理解に始まり、児童生徒理解に終わると言われるように、生徒指導におけるアセスメント（見立て）の重要性は言うまでもありません（P88）

### 最近接発達領域(ZPD)

②教育的課題を明らかに・・・



発達の最近接領域 (ZPD: Zone of Proximal Development)

子どもが「1人ではまだできないが、大人の支援や仲間との協力があればできる」範囲を指す概念

スライドは、全体 Classroom の5月26日にあがっています！場崎先生、ありがとうございます！